

平成25年度「福島県学力調査」結果について 《小学校第5学年》 福島県教育委員会

1 調査趣旨

全国的な規模で児童生徒の学習の実現状況を調査し、学習指導上の課題及び学習指導の改善点を明らかにし、各学校等における改善の取組に資するとともに、学習習慣や生活習慣及び意識等と学力との関連性を分析し、学校を中核としながら地域や保護者と連携して学力向上に取り組む基盤づくりを図る。

2 実施日程

平成25年11月11日（月）～15日（金）

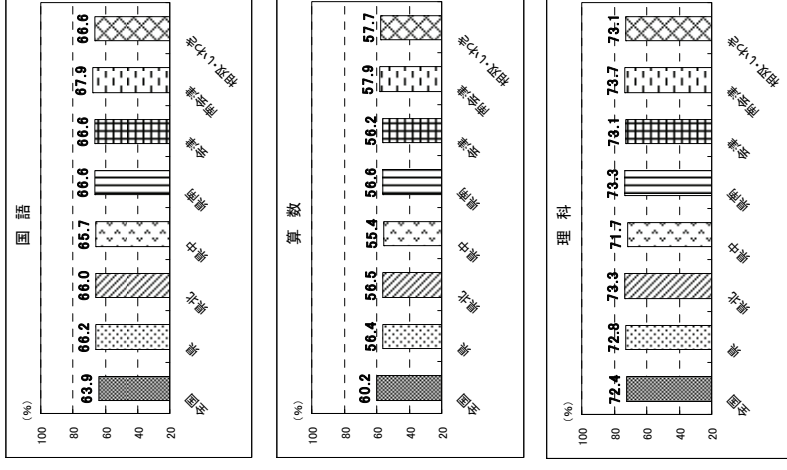
3 受検人数及び調査時間（小5）

【受検人数】	
国語	算数
16,881	16,875
【調査時間】	
45分	45分
45分	30分程度

4 用語の解説

全国：一部オリジナル問題の想定値を含め算出した値。
偏差値：全国値を基準（50）にして算出。
意識調査：帯グラフは各選択肢の割合。縦棒グラフは各選択肢を選んだ集団ごとの3教科平均正答率。

5 生活圏別教科平均正答率



6 結果の概要

1) 国語

教科全体の平均正答率は66.2%で、全国の63.9%を上回っている。

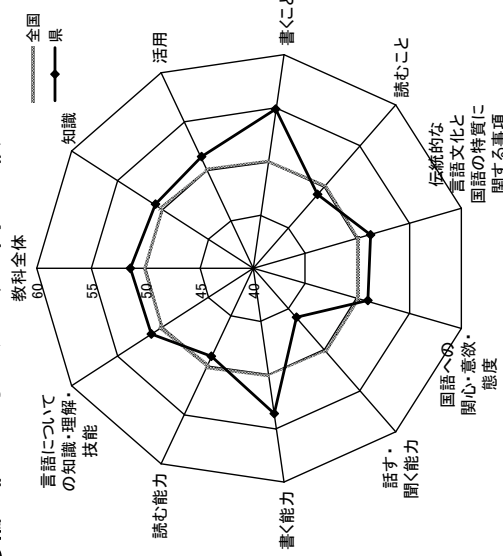
①集計結果 (%)

平均正答率	
県	66.2
全国	63.9

②カテゴリ別正答率 (%)

分類	区分	県	全国
知識・活用	教科全体	66.2	63.9
	知識	66.4	65.0
	活用	65.9	62.0
領域	書くこと	90.5	74.8
	読むこと	53.9	56.0
観点	国語への関心・意欲・態度	65.2	62.9
	話す・聞く能力	53.3	63.3
	書く能力	78.9	68.6
	読む能力	53.9	56.0
	言語についての知識・理解・技能	70.8	68.5

③偏差値によるカテゴリ別比較



2) 算数

教科全体の平均正答率は56.4%で、全国の60.2%を下回っている。

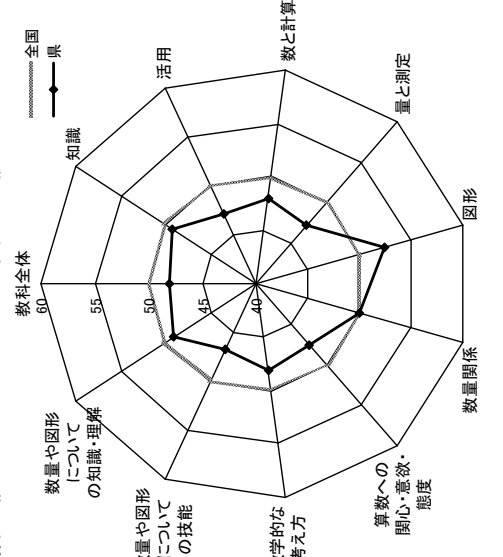
①集計結果 (%)

平均正答率	
県	56.4
全国	60.2

②カテゴリ別正答率 (%)

分類	区分	県	全国
知識・活用	教科全体	56.4	60.2
	知識	62.4	63.7
	活用	43.9	52.8
領域	数と計算	61.3	65.0
	量と測定	45.9	55.2
観点	図形	63.1	57.5
	数量関係	54.2	57.2
	算数への関心・意欲・態度	47.1	54.3
	数学的な考え方	48.8	53.2
	数量や図形についての技能	58.2	64.1
	数量や図形についての知識・理解	55.9	58.1

③偏差値によるカテゴリ別比較



3) 理科

教科全体の平均正答率は72.8%で、全国の72.4%を上回っている。

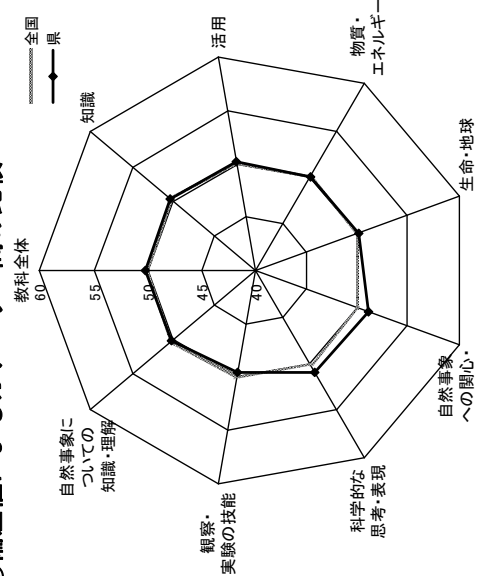
①集計結果 (%)

平均正答率	
県	72.8
全国	72.4

②カテゴリ別正答率 (%)

分類	区分	県	全国
知識・活用	教科全体	72.8	72.4
	知識	75.6	75.1
	活用	65.7	65.5
領域	物質・エネルギー	66.3	65.5
	生命・地球	75.8	75.6
観点	自然事象への関心・意欲・態度	72.0	69.8
	科学的な思考・表現	71.6	70.0
	観察・実験の技能	64.1	64.9
	自然事象についての知識・理解	73.8	73.7

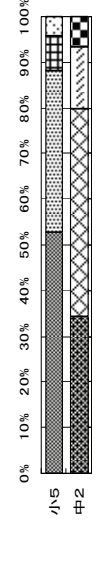
③偏差値によるカテゴリ別比較



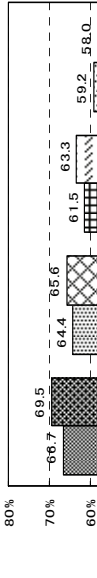
4) 意識調査

家族のささげやクラスの団結力、積極的に思いを伝える力は、教科学力との関連が深い。

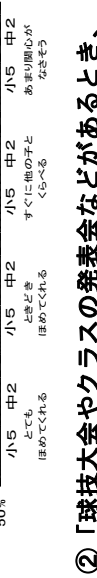
①「家の人は、あなたが努力してがんばったとき、それをほめてくれますか、みとめてくれますか？」



②「球技大会やクラスの発表会などがあるとき、あなたのクラスはもっと団結しますか？」



③「あなたは、学校生活の中で何回ぐらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていませんか？」



「家の人は、努力してがんばったとき、それをほめて、みとめてくれる」「球技大会やクラスの発表会などがあるとき、自分のクラスはもっと団結する」「学校生活の中で自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりする」と、肯定的に回答している児童生徒の割合が高い傾向にある。
 また、①「あまり関心がない」と回答している児童生徒の割合が、②「発言しない日もある」と回答している児童生徒の割合より低くなっていることが分かる。